

Elementary school



食への関心づくりの一助へ

平成23年度ふくしまっ子食育推進ネットワーク事業「わたしが作る!! おすすめランチコンテスト」の表彰式は2月21日、町役場で挙行されました。

この事業は、親子で献立を作ったり、地元の食材について学んだりして、家庭や地域ぐるみで子どもたちに望ましい食習慣をつくることを目的に実施されています。表彰式では、土屋重憲教育長が「知、徳、体の根本にあるのが毎日の食事であることを知ってほしい」とあいさつ。入賞者一人一人に表彰状と記念品を手渡しました。

最高賞の優秀賞を受賞したのは、吾妻小学校の林部 悠太さん(3年)が作った「バランスよくいろいろたべようランチ」。林部さんは「お母さんと一緒に考えて作ったメニュー。キノコや野菜などをたっぷり入れた具だくさんのみそ汁が気に入っています。頑張って作ってよかった」と受賞を喜びました。



写真上 土屋教育長から表彰状を受け取る林部さん。3月1日には、林部さんの考えたランチが町内の各小学校の給食に登場しました
写真下 表彰を受けた各小学校の児童ら

High school



高校3年間の思い出を胸に

猪苗代高校の卒業式は3月1日、同校の体育館で執り行われ、普通科、国際観光科合わせて75人が思い出の学びやを後にしました。

荒井一成校長が、卒業生全員に卒業証書を授与し「これからは、それぞれが選んだ道を責任を持って歩むことになる。周りの人を大切に、その絆を深めながら生きてほしい。3年間で学んだ英知、忍耐、勤勉の校訓を生かし、さらに経験を積み、立派な社会人になってください」と式辞を述べた後、小松山善継県議、前後公町長らが祝辞を述べました。

在校生代表の加藤美希さんが「先輩たちの母校への思いを受け継ぎ、頑張っていきます」と送辞。

卒業生代表の大川原伸幸さんが「3年間で多くのことを学んだ。これからは、福島県人としての誇りを胸に、それぞれの夢を実現するために頑張っていく」と力強く決意を述べました。



写真上 卒業生代表の大川原さんが「福島県人としての誇りを胸に頑張っていく」と力強く答辞を読み上げた
写真下 「先生、ありがとうございました」涙を浮かべた卒業生たちが最後のあいさつ

スクールトピックス & ニュース INAWASHIRO



春からは一緒に頑張ろうね

吾妻幼稚園、中ノ沢保育所と吾妻小学校の交流会は2月24日、同校で開かれました。この日、同校を訪れたのは幼稚園、保育所の年長児12人。

開会式では増井陽一校長が「小学校はどんなところかを1年生が説明します。今日は楽しく過ごしてください」とあいさつ。年長児らは、1年生17人と一緒に歌ったり、遊んだりしながら交流を深めた後、校内を見学しました。

給食の前には、古田晶美栄養士が朝ごはんを食べることの大切さなどを紙芝居で説明。児童らは笑顔でうなずきながら紙芝居に見入りました。

幼稚園の佐藤泉起くんは「カレーうどんのスープがおいしかった。1年生になってもたくさん食べます」、保育所の磯川琉聖くんは「みんなと一緒に遊べたのが楽しかった。デザートがおいしかった」と感想を話しました。



写真上 みんなが一番楽しみにしていたのは、やっぱり給食。この日のメインはカレーうどんでした
写真下 1年生はおみせやさんごっこで年長児をもてなしました



川桁保育所に新しい商店街

川桁保育所の児童らは2月28日、恒例の「おみせやさんごっこ」を楽しみました。

保育所の廊下に作られたミニ商店街では、年長児のさくらA組とB組の子どもたちが自分の好きなお店を出店。食べ物、アクセサリ、お面、ゲームやおもちゃなどのお店が並びました。

「いらっしゃいませ」と威勢のいいかけ声が響く中、小さな子どもたちが商店街に登場。子どもたちはお目当ての品を見つけると歓声を上げながら買い物を楽しみました。

食べ物屋さんを出した國井結いちゃん(A組)と鈴木百華ちゃん(B組)は「作ったお菓子が売れてよかった。みんなが来てくれてうれしかった」と笑顔。

何かを考え込み、つぶやきながら買い物をしていた深谷琥太郎くん(もも組)。耳を傾けると「これはママにあげようかな…」と話していました。



写真上 「これくださいー」笑顔で楽しそうに買い物をする子どもたち
写真下 「お土産どうしよう」「これなんかいいんじゃない」そんな会話が聞こえてきそうな2人

Elementary school & Kindergarten & nursery school

Nursery school